

令和7年4月20日

令和6年度共同研究講座活動実績報告書

共同研究講座名：食と健康研究講座

所 属 長：福井 道明

1 共同研究講座の目的

日本糖尿病学会が掲げる糖尿病診療の目標、すなわち糖尿病がある人の人生の幸福度を高めることを達成するために、食品関連企業と共同研究し、抗サルコペニア・抗肥満・糖代謝改善効果を有する食品を研究・開発すること。

2 報告年度に係る取組状況

- 従来の牛井と比較検討し、グアーガム分解物（PHGG：Partially Hydrolyzed Guar Gum）として サンファイバー®6g（食物繊維5g）を混ぜた牛井（以下 ファイバー牛井）の摂取が食後の血糖変動、食後2時間後のインクレチン分泌、食後2時間後のグレリン分泌に及ぼす影響についての再現性を確認すべく、クロスオーバー試験を施行した。血糖変動に関してはファイバー牛井において抑制の傾向を認めた
- 血清メタボローム解析についても再現性を確認、ファイバー牛井の摂取は食後の血中オルニチン、リジンを上昇させる傾向を認めた。
- n数を増やし上記検討を進めている。

3 報告年度における著書、論文、学会発表、講演、研究助成等の実績

- 五十嵐友輔、牛込恵美、濱口真英、黒川眞行、辻智子、安部綾、佐藤則夫、福井道明、ファイバー牛井摂取の食後血糖変動に与える影響についての検討、第61回日本糖尿病学会近畿地方会

※欄内におさまらない場合は枠を広げて記入のこと。

※大学ホームページ等において公表することとなるので、秘密情報については記載しないこと。